

大切なお子さまを最高の環境で…

幼 学校法人京新学園

太秦幼稚園 072-822-2280
寝屋川市高宮あさひ丘2-2

三井中央幼稚園 072-823-6300
寝屋川市三井が丘2-5-3

京新学園 検索

ひと・もの・ところをつなぐ地域情報紙

月刊アゴラ



2022年
9月号
vol.386

編集・発行 京阪ジャーナル社
〒573-0065 枚方市出口3-37-12
TEL.072-834-5674
FAX.072-834-5684
HP <http://agora-an.com/>
e-mail office@agora-an.com

発行:月1回/年間購読料:3,000円(送料込)/
1部:200円 口座番号:00940-6-41022/
加入者名:京阪ジャーナル社

配布エリア…枚方市/寝屋川市/門真市/守口市/四條畷市/交野市/大東市

【発行部数 60,500部】

INDEX

2面

- 地球の片隅から「事実を伝えること」
- 地域防災力を高める 産官学公4者で連携協力

3面

- ひろば
- ぶらっと関西「北河内歴史の散歩道」
- ④東高野街道を歩いてみる

逝く命 送る心

9月は防災月間です。新型コロナウイルス感染症予防と自然災害への備え…と、危機意識が高まるにつけ、「死」を身近に感じる日常が続きます。「生」と「死」は表裏一体。「死」は、誰にでも平等に確実にやってくる現実です。100年に一度のパンデミックがもたらせた不安な時代に、「死を想う」時間が与えられたことは、「今を生きる」自分の命との対話をするための貴重なチャンスなのかもしれません。

「ありがとう」に ありがとう。

FRAMA(ふらま)代表の足立智行さん(39)は、追手門学院大学文学部を卒業後、金属加工会社の技術職に従事していたが、実家の葬儀業の拡大に伴い、家業の手伝いをする機会が多くなっていた。

そんなある日、電話がかかってきた。お母さんが亡くなった直後の女性からの相談だった。母娘二人暮らしだった女性は、亡き母以外に身内は



葬儀業の奥深さについて語る、足立智行さん

故人の生前の背景をじっくりと聞きとり、喪主が癒やされるサービスに徹することに努めた。ご遺体の搬送、安置、通夜式、告別式、火葬と厳粛に家族葬が進んだ。少人数の貸し切り会場

「絆」をつなぐ

以前から、枚方市駅から近くの年金事務所前にある、一軒家のような「家族葬ホール・絆」が気になってきた。喪失感を抱えながら、何もかも一人で決めなければいけない状態、思い切った電話したという。動揺を抑えながら聞いてくれる電話の声。足立さんは、「この人に満足していただきたい。後悔はさせないでください」と決心した。



式場

はまるで自宅にいるような安らぎ。献茶サービスもスタッフとも打ち解け、ゆっくりとした時間は流れ、女性は、「母との最期の時を静かに過ごせました。ありがとうございました」。足立さんは「ありがとう」といってもらえる葬祭業の奥深さを知った。「この業界に入っ

て、葬儀は物を売るのではなく、心を届けるサービスだ。人間と同じようにペットも大切な家族の一員です。共に過ごしたペットの供養も大切にしたいです」と、足立さん。葬儀業と並行して

枚方を中心に近畿圏対応
大切なペットのお見送りをお手伝い

訪問火葬

ご自宅まで火葬車で伺い、ご返骨致します

枚方ペットセレモニー
FRAMA ふらま

枚方市新町1-13-46-3F 24時間受付
☎072-807-3137

「アダチさんに任せたら大丈夫!」。

(株)アダチは、枚方市規格葬儀の取扱店として、枚方市出口の本社と市駅近くと2か所のホールで地元密着型の葬儀を実施。30年間で「クレームはゼロ」を誇りにしている。「アダチさんにまかせたらええよ」と、近隣のロコミで伝わっているのがうれしいです」と足立さん。地元の人に不信感を与え

■株式会社アダチ・家族葬ホール(本社)
枚方市出口2-18-8
☎0120-76-00087
24時間
365日対応



家族葬ホール・絆 外観

関西医科大学 KANSAI MEDICAL UNIVERSITY

経験が力になる

看護師のための復職支援 関医・看護師リカレントスクール
第6期【2022年10月17日から12月5日】開講

対象者：看護師として復職を目指している方
定員：10名 受講料：8,000円(実費相当)

◆講義はリモート!e-ラーニングによる多様な学習を自宅で
◆最新の知識と技術の習得 ◆希望者には就職支援

関西医科大学看護キャリア開発センター
Phone 072-804-2849 E-mail rikarent@hirakata.kmu.ac.jp
詳細は Web サイト参照 → www.kmu.ac.jp/recurrent/

家族信託 失敗しないためには早めの相続対策を!!

2025年には老年人口の5人に1人は認知症になると推計されています。認知症になってしまった場合、自宅の修繕の契約や、口座から現金の引き出しなどもできなくなりま

そこで現在、注目されているのが「家族信託」です。財産の維持・管理・運用を「ご家族」に託すのです。

銀行等で提案される「遺言信託」とよく混同されていますが、全員の別物です。こちらは遺言書の作成から実行完了までを任せられるという商品で認知症対策にはなりません。誰もが認知症を他人事とは言えない今、準備は大丈夫ですか?お気軽にご相談ください。

《9月のテーマ》
・第3回「賢い生前贈与のススメ」
▶9月3日(土)
・第5回「公正証書遺言の作り方と家族信託の活用」▶9月24日(土)
いずれも13:00~15:10
・完全予約制 定員4名ですのでお早めにお申し込みください。
気になるテーマのみのご参加もOK!

【会場】やまだ診療所横セミナールーム(寝屋川市萱島本町20-47 ロントF彩都3階)

講師 山口和志

大阪 R-JAPAN 相続サポートセンター
大阪市北区中崎西 4-3-32 タカ大阪梅田ビル 3 階
TEL 06-4802-5454 10:00~19:00
<https://osaka-r-japan.z-souzoku.com/>